



就任挨拶 瑞山会 会長 片山 守 (11期生)

この度の総会にて4代目会長を仰せつかりました片山守です。

瑞山会は1978年設立、今では1万人を超える会員数となっています。1978年は正に私の卒業年ではありますが、存在を意識し始めたの

はずか数年前。現在私は東京住いで関東支部の一員。支部イベントには本部に関わる前から参加。支部イベントコンテンツは興味深く、母校のことを思い出す良いきっかけを作ってくれました。またハイキングやボウリングなど気軽に参加できる企画もあり、「OB会のあるべき姿の実践」と思い、時間の許す限り参加しておりました。振り返りますと、社会人となって、ワーカホリック「24時間働けますか?」の時代を駆け抜け、その終焉が見えてきたころ、会長・副会長から現役学生対象の「OB経営講座」を担当してほしくないかと打診がありました。社会人生活も残すところ2年余り「自らの社会人生活を振り返る良いきっかけにもなる」との思いからお受けすることに。100枚近いスライドを作成し、入社以来の「業界を取り巻く変化と自らの職歴を重ね合せ」講座に挑みました。驚いたのは200を超える講義レポートが返送されてきた時のこと。何割かの学生がとて熱心に聞いてくれたこと、また彼らが「社会人になるための熱い思い」が込められていたこと。数十年間無関心であつ

た母校の後輩たちが、OBである我々が卒業後どのような人生を送っているのかについて、生の情報を強く求めていると感じました。「これくらいなら母校に貢献できる」と思った瞬間でした。これを機会に瑞山会副会長を打診されお受けした次第です。現役学生や若手卒業生は、きっといろいろなことをOBメンバーと情報交換したいのだろうと、そんな折、先日瑞山会ホームページ改定が検討されていることを知りました。また、大学サイドでも将来の社会人生活に向けた「新カリキュラム」の採用が検討されているとのこと。少し時間がかかるかもしれませんが各種ツールを活用して、現役の準会員時代から瑞山会との情報共有を進め、若い会員の参加率を徐々に拡大できればと思っています。このような地道な活動を通じて瑞山会会則第3条「本会は会員の親睦を図るとともに、母校の発展に寄与することを目的とする」の実現に一歩一歩近づければ、また、情報共有の仕組みの構築により、誰もが気軽に瑞山会活動に参加できる風土づくりを進め、次世代にバトンをつなげていければと考えております。数年後大変楽しみな事案、山の畑校舎が生まれ変わります。会発足50周年も近づいています。ますますの当会の発展を祈念いたしますとともに、瑞山会会員並びに大学の皆さんにおかれましては、ご支援ご鞭撻を賜りますようよろしくお願いを申し上げます。



退任挨拶 瑞山会 前会長 村井 清 (6期生)

先の瑞山会総会兼代議員会（6月15日開催）で会長を片山守さん（11期生）、新副会長に中村彩子さん（21期生）新任、中野重治さん（6期生）副会長再任はじめ新体制が承認されました。同時に小職の瑞山会顧問就任も承認され今後とも助言することがあれば瑞山会運営に関わって参りますのでよろしくお願い致します。

さて、会報No.53【平成28年(2016年)7月20日発行】の就任挨拶で「巷間『3代目は身上を潰す』と言われます。一方『3代続けば末代続く』とも置き換えられるとのこと。末永く瑞山会があり続けるために次代に引き継げる後進を育成することも我々の役割と自覚して会運営を進めたいと考えます。」としました。果たして前者か後者かは皆さんの判断に委ねることとなります。同じ会報紙面でその年の4月に経済学部長に就任された三澤哲也教授が「One For All, All For One～団結と連携～」と題して寄稿されました。昨年名古屋市立大学8つ目の学部として新設されたデータサイエンス学部学部長として活躍されています。

瑞山会役員として足かけ23年務めました。(2002年瑞鳳会【トヨタ自動車の名市大卒業生の会】支部の支部認定に伴う理事就任、2012年副会長就任、2016年会長就任)を振り返ってみますといろいろなことが思い出されます。

2008年の瑞山会設立30周年記念パーティーでは記念講演講師として伊藤元重東京大学大学院教授（当時）をお招きし当時米国経済がサブプライム問題で揺れる状況を話していただきました。講演中「米国経済は大丈夫」とされましたが、翌日リーマンブラザーズ破綻の報道が世界を震撼させたことを思い出します。また2019年の瑞山会設立40周年の記念パーティーでは、中国の台頭について元中国特命大使、元伊藤忠商事会長・社長

にお聞きしました。昨今専制政治の中国・ロシア・北朝鮮の動きが気になるところです。

会長時代の8年間を見ますと、支部拡大で地域支部関東支部2017年発足、関西支部2021年書面で発足・昨年10月1日設立総会・記念パーティー開催、職域支部職名会（豊田自動織機）2017年発足、名士会（豊田合成）2018年発足と成果が出ました。

「母校の発展に寄与」では名市大開学70周年事業寄附金集めに関して同窓会で2億2千5百万円の寄附を集めるとの大学よりの依頼を受けて、瑞山会・剣陵会で2千万円目標（医学部同窓会瑞友会1億5千万円、薬学部同窓会薬友会2千万円、人文社会学部瑞桜会1千万円など）に対し、瑞山会より500万円、瑞山会会員個人寄附615万円余、瑞山会より企業に働きかけ寄附された10社435万円合計1,550万円のご協力をいただき、会員数最大の同窓会としての役割を果たせたことであり、皆さんのご協力に感謝します。

大きな出来事として2点あります。1つ目は「人生100年時代」が叫ばれ瑞山会役員が発掘に支障が出ていることです。各企業は人材確保の観点からも就業年齢の引き上げがなされ、瑞山会役員も「まだ就業中だから」と役付き（副会長や各部部长・副部长）辞退、会員の役員就任が難しい事態となっています。私がやりますと手が挙がることを期待します。2つ目は新型コロナで活動が制限されたことが挙げられます。このコロナ禍は悪いことばかりではなく良い面としてハイブリッド会議開催が導入されたことで遠隔の居住者や業務多忙の瑞山会役員、会員に参加頂けた事です。

最後にこれまでやってこられましたのは会員皆様のご理解、瑞山会役員のご尽力、先生方はじめ関係各位のご理解ご協力があったればこそで、そのことに対しまして厚く御礼申しあげ、瑞山会のますますの発展を祈念し退任の挨拶とします。(6月16日記)

令和6年度 瑞山会総会兼代議員会・懇親会開催される

6月15日(土) 令和6年度「瑞山会総会兼代議員会」が「名古屋東急ホテル」4階 栄の間にて午後3時30分から、昨年と同様、会場参加とオンライン参加の2通りの“ハイブリット方式”で開催されました。会場は70名、オンラインでは15名 計85名の参加となりました。

中野理事の進行により、議事に先立ち逝去された会員への黙祷がなされた後、黒宮議長及び書記(田中理事、大山理事)が選出されました。

村井会長の挨拶に続き、令和5年度の事業報告並びに決算報告が審議され、賛成多数で承認されました。

次に、村井会長より令和6年度役員案を説明。片山新会長はじめ、新任及び再任理事と新任監事の紹介、村井会長の顧問への就任について説明され、賛成多数により承認されました。

最後に、片山新会長より令和6年度基本方針と大学や経済学部との連携などについて説明の後、各部長より事業計画案と、会計部より予算案が説明され、賛成多数により承認されました。

総会兼代議員会終了後は、講談師の旭堂麟林様きよくどうりんりんの「将棋 藤井聡太物語」で、会場は大きな拍手と笑いに包まれ、和やかな時間を過ごし、閉会となりました。

引き続き会場を移動し懇親会が開催されました。参加者は瑞山会会員60名(内吉田ゼミ出身者13名)、3回生招待者34名、教員5名(吉田先生除く)計99名の参加となりました。

先ほどの総会で今回退任されました村井前会長の挨拶、片山新会長の就任挨拶に続き、中山学部長から今日出席頂きました先生方の紹介を頂きました。

吉田先生、坂倉先生、森田先生、山本先生、鶴飼先生よりご挨拶を頂いたあと中山学部長のご発声で幕を開けました。各テーブルでは、同窓会メンバーと3回生の現役学生との交流する姿も見えるなか、アトラクションでマジックショーとお楽しみ抽選会で大いに盛り上がりました。今回吉田ゼミのメンバーが、集まるなど新しい試みもありました。来年は他のゼミや同期のメンバーも懇親会を利用して旧交を温める機会にして頂ければと思います。



総会の様子



片山会長



中山学部長



マジックショーの様子

● 令和5年度 (2023年度) 決算報告 第46期収支計算書

(自令和5年4月1日 至令和6年3月31日)

(収入の部) (単位: 円)

勘定科目	予算額 (A)	実績額 (B)	差額(A)-(B)
会費収入 (新入会費 274 名分)	8,220,000	8,220,000	0
各部預金利息	100	151	-51
基金利息	400	338	62
その他収入 (注)	480,000	285,000	195,000
名簿発行引当金繰戻し	0	0	0
収入計	8,700,500	8,505,489	195,011

(注) ゴルフコンペ参加費、総会後懇親会参加費

(支出の部) (単位: 円)

勘定科目	予算額 (A)	実績額 (B)	差額(A)-(B)
名簿発行引当金	100,000	100,000	0
名簿管理費用	191,000	146,069	44,931
会報発行費	1,200,000	1,172,334	27,666
総会費 (注1)	1,800,000	1,261,723	538,277
事務運営費	1,168,660	923,092	245,568
通信費	81,000	15,714	65,286
事業費	740,000	769,453	-29,453
経済学部寄付金 (注2)	720,000	590,849	129,151
支出計	6,000,660	4,979,234	1,021,426
当期剰余金	2,699,840	3,526,255	-826,415
合計	8,700,500	8,505,489	195,011

(注1) 総会会場費(名鉄グランドホテル)及び総会案内費用

(注2) 成績優秀者3名表彰、卒業生記念品、OB講義謝礼、海外留学助成はなし

● 令和6年度 (2024年度) 予算 第47期収支計算書

(自令和6年4月1日 至令和7年3月31日)

(収入の部) (単位: 円)

勘定科目	予算額 (A)	前年実績額 (B)	差額(A)-(B)
会費収入 (新入会費 268 名分)	8,040,000	8,220,000	-180,000
各部預金利息	1,500	151	1,349
基金利息	3,000	338	2,662
その他収入 (注)	470,000	285,000	185,000
名簿発行引当金繰戻し	0	0	0
収入計	8,514,500	8,505,489	9,011

(注) ゴルフコンペ参加費2回、総会後懇親会参加費

(支出の部) (単位: 円)

勘定科目	予算額 (A)	前年実績額 (B)	差額(A)-(B)
名簿発行引当金 (注1)	100,000	100,000	0
名簿管理費用	148,000	146,069	1,931
会報発行費 (注2)	1,250,000	1,172,334	77,666
総会費 (注3)	2,930,000	1,261,723	1,668,277
事務運営費	2,686,000	923,092	1,762,908
通信費	31,000	15,714	15,286
事業費	890,000	769,453	120,547
経済学部寄付金 (注4)	570,000	590,849	-20,849
支出計	8,605,000	4,979,234	3,625,766
当期剰余金	0	3,526,255	-3,526,255
当期基金戻し入れ額	-90,500	0	-90,500
合計	8,514,500	8,505,489	9,011

(注1) 次期限定名簿改訂予算割計上(毎年10万円)

(注2) 会員増加により発行部数増

(注3) ホテル会場変更・現役学生招待費用(名鉄グランドホテル→名古屋東急ホテル)

(注4) 成績優秀者3名、海外留学生助成3名、卒業生記念品(30万円)

令和6年度役員名簿 (理事・監事・顧問)

氏名の○印は新任 □印は再任

理事

●会長

片山 守○ 11期生 (宮川)

●副会長

中野 重治□ 6期生 (山本)

吉田 和生 20期生 (國村)

中村 彩子○ 21期生 (安藤)

庶務部 (14名)

●庶務部長

近藤 敏之 12期生 (西田)

●副庶務部長

山中 誠二 14期生 (安藤)

●庶務部担当

伊藤 孝 6期生 (山本)

浅倉 伸也 10期生 (木村)

森 美智子 14期生 (塩見)

盛林 義久 15期生 (松井)

木村 剛 17期生 (辻)

奥川 哲也 18期生 (宮原)

鳥羽 義人 21期生 (牛嶋)

真下 恭史 24期生 (根津)

田中 多聞 31期生 (程島)

水野 誠 32期生 (藤本)

船越 徹 44期生 (森田)

阿加井 果歩 52期生 (高橋)

編集部 (19名)

●編集部長

山田 一利 6期生 (山本)

●副編集部長

水野 誠 13期生 (宮川)

(名簿担当)

中村 英利 20期生 (西田)

(HP担当)

●編集部担当

伊熊 啓人 6期生 (妙見)

中野 重治 兼務

矢川 康治 6期生 (西田)

田中 英治○ 14期生 (中居)

松川 倫典 16期生 (塩見)

橋本 光生 18期生 (醍醐)

湯浅 伸庸 18期生 (安藤)

高橋 功典○ 19期生 (上村)

石川 勇治 21期生 (上村)

浅井 徳幸 24期生 (山田)

松浦 理早 28期生 (星野)

石神 賢太郎 29期生 (岸)

松澤 孝宏 33期生 (藤本)

田中 駿 49期生 (吉田)

柴山 宗馬 53期生 (余合)

鈴木 虎太郎 54期生 (河合篤)

事業部 (9名)

●事業部長

中村 彩子○ 兼務

●副事業部長

那須 正和○ 28期生 (山田)

●事業部担当

細野 博行○ 6期生 (山本)

山中 誠二○ 兼務

森 康二 21期生 (内藤)

長谷川 真次 25期生 (多和田)

浅野 雅幸 35期生 (松村)

高木 敏行 38期生 (前田)

稲波 幸憲 53期生 (高橋)

渉外・広報部 (4名)

●渉外・広報部長

吉田 和生○ 兼務

●副渉外・広報部長

—

●渉外・広報部担当

田中 喜夫○ 7期生 (岡崎)

鳥羽 義人○ 兼務

近藤 智行○ 32期生 (安藤)

会計部 (4名)

●会計部長

稲垣 謙二○ 18期生 (國村)

●副会計部長

坂口 美穂○ 30期生 (多和田)

●会計部担当

菅田 裕真 55期生 (坂和)

大山 莞○ 57期生 (吉田)

監事

児島 和世○ 22期生 (國村)

早川 弘晃○ 36期生 (宮原)

顧問

栗野 泰次 1期生 (大山)

前田 勝昭 1期生 (岡崎)

村井 清○ 6期生 (山本)

鳥谷 紀寿○ 山の畑事務室主幹

※退任理事 (瑞山会会則 細則 2役員規程による)

鬼頭 等 (3期)、小坂英雄 (4期)、光岡 正和 (14期)、服部 篤典 (18期)、木河 勇二 (21期)、森 麻矢 (28期)

名古屋市立大学卒業式が名古屋国際会議場にて挙行されました

令和6年3月22日、名古屋市立大学卒業式が名古屋国際会議場「センチュリーホール」にて挙行され、当日の様子は本学ウェブサイト(本学YouTubeチャンネル)でライブ配信されました。



写真左から鈴木里和さん、家森理彩子さん、大山 莞さん

コロナ5類移行で各同窓会会長の来賓としての出席が復活。村井会長は経済学部学位授与式に参列し、祝辞を述べ、併せて令和5年度成績優秀者に対する「瑞山会賞」として賞状及び記念品の授与を行いました。

令和5年度「瑞山会卒業生表彰」者

■成績優秀者：2名 1年生～4年生までの累積GPAによる成績順位上位2名

1. マネジメントシステム学科 家森 理彩子さん

2. 公共政策学科 鈴木 里和さん

■資格取得等：1名 3年生での公認会計士試験合格等
会計ファイナンス学科 大山 莞さん

令和6年度経済学部 オリエンテーション開催

去る4月4日(木)山の畑キャンパスで新入生オリエンテーションが開催されました。201教室(階段教室)が、満席状態になる271名の新入生を迎えました。瑞山会からは、村井会長、田中副会長、近藤庶務部長、山田編集部長が参加し、村井会長から、学生に向けてお祝いの祝辞とともに、勉学は勿論ですが、クラブ活動等を通じ、新たな絆を深め、人間力豊かな社会人に育て欲しいとのエールがありました。田中副会長から瑞山会の紹介、近藤・山田部長からも交友関係、特に他学部との交流も

大事。色々な機会を活用し、将来の人間関係形成に役立てて欲しいとの話を頂きました。



瑞山会会員

職場訪問

日時：令和6年3月25日(月)
10時～12時

場所：(株) 総医研ホールディングス大阪本社
取材者：編集部 湯浅理事・山田理事

Interview

(株) 総医研ホールディングス
代表取締役社長 石神 賢太郎(29期生)

本日、大阪大学医学部発のバイオベンチャーとして、東証グロース市場に上場している「総医研ホールディングス(以下「総医研」)の代表取締役社長 石神賢太郎さん(29期 1996年卒 岸ゼミ マーケティング)のインタビューの為、職場にお伺いしました。



「イミダペプチド」愛飲歴13年。「渡り鳥の力」のイメージキャラクター小林 旭様との記念写真

大阪がご実家で、名古屋市立大学を受験されているのですね。

父が、大阪で不動産の自営業をされており、就職というより、起業に関心がありました。高校時代は理系だったのですが、起業にはビジネスの知識の必要性を感じ、経済学部を受験することにしました。候補先として、名古屋市立大学が数学のウエイトが高いと知り受験する事にしました。入学してからは、勉強せず、麻雀ばかりの生活でした。クラブ活動はマイカー通学したいばかりに、不純な動機ですが駐車場が無料との話を聞き、自動車部に入部しました。実はそこで、妻とも出会いました。さすがに、学部が上がってからは、岸ゼミで、マーケティングについて、真剣に学びました。

就職氷河期の卒業ですので、就職先はご苦労されたと思いますが、如何でしたか

新卒採用の1996年はすでにバブルが崩壊しており、就職氷河期と言われた時期ですが、おかげさまで皆さんよく御存知の大手から、いくつか内定をもらいました。但し元々起業の為の勉強が目的でしたので、当時業界では知られていた、経営コンサルの日本LCAに入社しました。社長の小林忠嗣様が「DIPS」というホワイトカラーの知的生産性向上のための教育プログラムで、複数の書籍がベストセラーになっていました。社員には、「常々、起業せよ」という会社で、49%を会社が出資する仕組みもあり決めました。日本LCAは、2000年にナスダック、2002年に東証2部に上場しました。

実力主義の会社で毎月400時間労働と、大変でしたが嬉々として働きました、若くても、顧客を開拓し、売り上げを伸ばせば、給料がしっかりもらえる会社でしたので、起業に向けて30歳弱で2000万円ほど貯蓄できましたが。その後会社が経営難となり、独立支援が難しいということになり、2005年、約10年勤めた日本LCAを辞めて、起業準備に入りました。日本LCAは、その後、2015年に倒産して

しまいました。ベンチャーリンクなど、起業支援の日本のオーソリティでしたので、とても残念です。

日本LCAを退職した2005年は、ITバブルの時代で、デイトレードが流行りでした。大阪に戻りデイトレーダーとして、まずは起業資金1億円を目指しましたが、プロのつもりが何と半年で300万円になってしまいました(笑)

妻との約束で元手の2000万円が、300万円まで減ったらやめ時にしようと決めていましたので、慌てて就職活動を開始しました。子供も1歳になったばかりで私も32歳でした。

**現在の会社「総医研」との出会い。
中途採用活動について教えてください。**

自宅の近所でもあり、株取引でも知った、大阪大学医学部発で、マザーズに上場したバイオベンチャー企業「総医研」を知り、求人情報はありませんでしたが手紙で応募しました。上場バブルは続いており、「総医研」は、わずか30名の社員数でしたが、なんと時価総額1000億円、一人当たりの時価総額が30億円という、破格な会社でした。大阪大学医学部の検査技術、疲労度合いを数値化するバイオマーカー開発、特許取得から、トクホブームで、大企業からの製品効果の治験や論文作成の委託事業まで及び、売上・利益は安定的に増え続けていました。

疲労というものについては、わが社のマーカー以前は、「肉体疲労時の栄養補給」という食品の説明表示だけで、効果効能を標榜できませんでした。大阪大学が、疲労マーカーを開発してからは、今どれだけ疲労しているか、この製品を摂取すると、疲労はどれだけ改善するかを数値化できるようになりました。製品の効果効能に、ダイレクトに「疲労回復」と明記できる製品を、世に出すことが可能となり、世界の健康食品メーカーの注目を集めたわけです。特許を取得し、ライセンス契約では、製品売り上げに対するマージン収入も明記されていました。

**入社後、どんな仕事をされて、社長にまでなられたのか。
キャリア形成に関心があります。**

私の手紙は、運良く創業者オーナーの目に留まりました。そして面談になり、なんだか面白そうな文系出身のやつということで、2005年に採用されましたが、オーナーからは、「仕事は自分で作りなさい」と言われました。周囲は、医師、理系の人たちばかり。仕事のしくみはありましたが、組織マネジメント、評価システムなどが不足していると若輩ながら感じました。日本LCA時代の、コンサルのフレームワークで、オーナーに、提案即実行を重ね、現場でも、「何でもやります」「何かお困りなことはありませんか」と、声がけし続けました。しかし、残念な事に反応が無い。コミュニケーションができない。悩みをお聞きしても、オーナーに、外から引っ張ってこられた人として、警戒されていたんですね。それでも、一つ一つ、「何でも屋」として、会社組織、事業のしくみに関わる、まさに「総務」を引き受け、信頼を重ねていきました。2年間ありがとうと言わ

れる仕事を重ねて、やっと頼られる「何でも屋」に近づく事で、先輩の技術者の人達との円滑なコミュニケーションを得ることが出来ました。



左から湯浅理事、石神社長、山田理事

2005年当時、当社は、文科省が音頭をとっていた産官学連系の「抗疲労食薬開発プロジェクト」に参画していました。疲労をなくすために、政府、学会、産業界をあげて本格的に取り組んだ研究開発プロジェクトです。その研究で渡り鳥が何千キロという長い距離を移動する中で胸の筋肉に含まれる成分が長時間の運動を支えているという事実が明らかになりました。当社は、有力な疲労回復成分「イミダペプチド」を発見し、健康食品製造販売を事業化しました。NHKをはじめ各TV番組でも取り上げられましたので、ご存じの方もいらっしゃるかと思います。その後も化粧品製造販売の会社をM&Aや、多角化を図る中で、複数の関連各社の組織、制度づくりに関わり、それぞれの会社のガバナンス、シナジーを高めるよう努力しました。日本LCA時代のフレームワークもあり、現状の問題から、課題整理、解決方法まで、つかみが早かったのかもしれませんが。ホワイトカラーの知的生産性向上を標榜するコンサル時代の経験が生かされたのかもしれません。IR（投資家への経営情報の公開共有）、説得力のある事業のしくみ、業績説明、通販の個人情報管理など「文系何でも屋」な努力を続けて、2009年35歳で、健康食品製造販売の関連会社「日本予防医薬」社長。2018年44歳の時に、グループ全社を統括する「総医研ホールディングス」の社長を、創業者、株主の皆様へ、任せていただけるまでになり今年で51歳になりました。

現在は、経営者として、どんな課題と向き合っておられるのですか。

グループ企業の多角化戦略で、メイドインジャパンの化粧品、健康食品は、中国市場で好評で、グループの売上高の最大化に貢献しました。しかし、近年のコロナパンデミック、その後の米中貿易関係の悪化、中国経済の停滞から、売上げが激減し、現在、安定している本業固めに尽力している最中です。海外投資家の持ち株比率も増え、収益の増加を要望する株主が納得する、本業を軸とした経営計画の実現に向けて、オーナーと共に、バランス経営を模索中です。

オーナーとは、常々大阪大学医学部発のベンチャーのコアである信頼性に根ざした事業展開から外れずに、高い成長を目指す信念を貫くよう確認しています。株式市場はじめ、商品顧客、多くのステークホルダーの業績向上の期待に応えながらも、企業理念への理解と協力を取り付けながら、

プロフェッショナルな経営者としての責任を自覚し、バランスの取れた経営、仕事創りに邁進しているところです。

社長として、とても忙しくしていますが、社員との関係は、若手から中堅まで、垣根なくのびのびとコミュニケーションできる社風を大切にしています。現在は、複数の会社が、各エリア、フロアに130名の社員が分散していますが、早く、風通しの良いワンフロアにしたいんです。日本LCAの時代にも大切にしてきたこと。事業のしくみを創り回せる人材育成、コミュニケーション、権限委譲。それこそは、経営者としての最大の仕事、環境創りです。私も、権限移譲といいますが、権限のある仕事を作り出して、バイオベンチャーの企業経営者をさせていただいています。今さらながら、いくつになっても、出会いと、コミュニケーションの大切さを痛感します。まさに現場でこそ人は育つものです。

大学の後輩に向けてメッセージをお願いしたいと思います

当社の業務内容とビジョンについては、私の経営コンサル目線でも自信がありますから、ぜひ、名古屋市立大学の皆さんにも、この会社の経営に参加してもらいたいと心から期待しています。新しい事業のしくみ創りを、起業家、経営者の視線で、いろいろ学べる会社だと思います。

ぜひ、お気軽に私たちの会社、大阪にお越しください。就職に限らず、ゼミ活動などの接点でも歓迎いたします。学生の皆さんの事業アイデアにも期待しています。私自身が、起業を求めて名古屋市立大学のある名古屋に来た時のように大阪でお会いできるのを、楽しみにしています。

◆ 編集部後記 ◆

石神社長には、大変お忙しいなか貴重な時間を賜り、感謝申し上げます。

インタビューを終えて、したいことをあきらめず、仕事に目的をもって、全力で努力を続けることが、次の出会いや、仕事のステージを創り出すのだとすこく納得しました。途中であきらめたり、逃げてしまったら、筋のある展開から外れてしまったかもしれないと、時々のエピソードをお聞きしながら感じました。やり続ける。やめる。その判断の基準こそは、会社の未来を決めていく上で、とても大事なこと。最初から決める必要はないが、日々の努力の中で、人は、いくつになっても、「なりたい自分」を模索し、常に、そこに近づくために、どんな努力を日ごろの仕事に合わせていくべきか、意識し続けることの大切さを感じました。人は、なりたいものになれると信じられる取材でした。社長になるという人の強さは、そこに由来するのだと信じられます。石神社長は、共に働く、社員一人一人の「なりたい自分」にも関わる仕事であり、将来130名ワンフロアの事務所での、コミュニケーションを目指したビジョンを描ける人なのだ。こうした石神さんの覚悟が、彼を社長に押しあげ、オーナーに、「仕事は自分で考える」と採用せしめるのかなと。すべてが切れずに、粘り強く、つながっていると感動しました。

これからも瑞山会会員の職場訪問を掲載させて頂く予定です。

自薦・他薦大歓迎です。瑞山会ホームページ等ご活用頂き、情報提供お願いします。

令和5年度交流会 総会・懇親会開催

令和6年2月18日(日)名古屋マリオットアソシアホテルで、令和5年度交流会総会が開催されました。

冒頭 津田交流会会長の挨拶で、名古屋市立大学はキャンパスが離れている事もあり横のつながりが希薄になる傾向があり、交流会として、各同窓会との関係等について検討を行っていく。交流会の将来のあり方について「名古屋市立大学交流会未来プラン」の策定を進めていくとの方針を述べられました。

郡理事長からは、交流会の支援を受けながら日本一の大学を目指していくとの力強い言葉と、具体的には第4期中期計画を通じ、データサイエンス学部に研究科を新設、リハビリテーション学専攻の新設により地域貢献度のランク2年連続国内1位を達成。

2027年には、震度7に耐えうる緊急災害医療センターの完成を予定している。

来年度予算として1280億円を見込んでおり、これは全国の大学で4位から5位に相当する規模となるとお話を頂きました。

休憩をはさみ、中京テレビの恩田千佐子様より「アナ

ウンサー生活34年目、今伝えられること」と題し、講演をして頂きました。

青山学院大学を卒業後、中京テレビとして初めてとなる女性総合職として採用となり、アナウンサーとして一筋に取り組んできた自らの経験を司会者との対談方式で語って頂きました。



中京テレビアナウンサーの恩田千佐子様(右)

2024年3月(令和5年度)卒業者 就職先情報

名古屋市役所 11名 オービック 6名 愛知県庁 5名

以下各4名

岐阜県庁、厚生労働省愛知労働局、三重県庁

以下各3名

アクセンチュア、中部電力パワーグリッド、東京海上日動火災保険、トヨタシステムズ、トヨタ車体、日本生命保険相互会社

以下各2名

大垣共立銀行、河村電器産業、岐阜市役所、岐阜信用金庫、十六フィナンシャルグループ、トヨタ自動車、トヨタファイナンス、ニトリ、みずほ証券、みずほフィナンシャルグループ、八木鋼材株式会社、一宮市役所

以下各1名

アイシン、愛知北農業協同組合、愛知銀行、愛知県警察本部、愛知信用金庫、愛知製鋼、ITCS、アウトソーシングテクノロジー、あおぞら銀行、アクサ生命保険、旭化成ホームズ、アビームコンサルティング、アビームシステムズ、アライドテレシスホールディングス、アルフレッサ、アルペン、飯田産業、イオンモール、インテック、ANA中部空港、SCSK、SPK、恵那市役所、NTTドコモ、MMPCコンサルティンググループ、鹿島建設、春日井市役所、キリックスリース、クイック、クオリカ、X Mile、経済産業省中部経済産業局、厚生労働省 東海北陸厚生局、国土交通省中部運輸局、国土交通省中部地方整備局、ソーラエナジー、財務省 名古屋税関、さなる、ジェイテクト、静岡銀行、自然科学研究機構 岡崎統合事務センター、シャープマーケティングジャパン、十六銀行、Sky、スタメン、セキスイハイム中部、第一生命保険、太平洋工業、大和証券、竹中工務店、田中貴金属グループ、中電シーティーアイ、中日ドラゴンズ、中部しんきんカード、DNP情報システム、デイリー・インフォメーション中部、デージーネット、テクノ菱和、デロイトトーマツ税理士法人、テン・サウザンド、デンソー、電通マクロミルインサイト、東海国立大学機構 名古屋大学、東海財務局、東海農政局、東海理化クリエイト、東北財務局、豊島区役所、トヨタカロラ愛知、豊田合成、豊田自動織機、豊田市役所、トランコム、名古屋国税局、名古屋証券取引所、西日本旅客鉄道、日興通信、日鉄ソリューションズ、日本アイ・ピー・エム、日本M&Aセンターホールディングス、日本碍子、日本カストディ銀行、日本タタ・コンサルタンシー・サービスズ、日本特殊陶業、パーソルキャリア、BuySell Technologies、パソナグループ、パナソニックエコシステムズ、BARCELONA、パローホールディングス、PwCあらた有限責任監査法人、薬城総合経営事務所、日立ソリューションズ、フォーカスシステムズ、プラザー販売、碧海信用金庫、法務省出入国在留管理庁 名古屋出入国在留管理局、マルコメ、みずほ銀行、みずほリサーチ&テクノロジーズ、三井住友海上火災保険、Mizkan J plus Holdings、三菱HCキャピタル、三菱重工業、三菱UFJ銀行、三菱UFJ信託銀行、名工建設、メイテツコム、メンバーズ、山崎製パン、山梨県庁、リゾートトラスト、レイス

◆会員からの声 (令和6年度総会案内の返信はがきより抜粋し掲載させて頂きました)

- 最近のスケジュールは循環器内科、整形外科、泌尿器科、皮膚科、眼科、歯科とクリニックツアーしています。(1期生 石原 俊夫)
- MLB大谷選手の活躍には心が和み、ウクライナ・イスラエルの戦禍には心が傷む毎日です。(1期生 飯田 浩康)
- 瑞山会関東支部総会に毎年出席し旧交をあためています。5月11日(土)鎌倉大仏ハイキング楽しんでこようと思っています。(2期生 山田 秀和)
- 週3回の卓球(旧卓球部所属)と週2回の筋トレ・ランニングで元気です。(2期生 稲垣 和俊)
- 今年で喜寿。会社も相談役に退き、趣味を楽しんでいます。(ゴルフ、歌、陶芸、ワインなど)(3期生 林 嘉明)
- 5月に入って脊髄の炎症による手術をしました。現在 歩行がまもなくならず、返信期限も迫って残念ながら欠席します。今後共よろしく!(3期生 山北 良彦)
- Base up, Cost up, Price up 年金生活Frail(3期生 早川 博)
- 心疾患を抱えて頑張っています。(4期生 野口 賢一)
- 関西支部には出席致します。(4期生 奈良 廣和)
- 加藤ゼミS46年卒 中村、今井、S47年卒 竹内、大澤で、約10年間ゴルフを年2回しました。しかし高齢になり遠方への車の運転が不安となり、今春で終了。(5期生 大澤 津義)
- 孫の世話、農園で野菜作りと忙しく過ごしております。当日は予定があり失礼いたします。(5期生 中山 栄二)
- 元気に暮らしています(アルバイト、町内会長、絵画発表会 続けてますよ)(6期生 加藤 哲男)
- 同期の親しい仲間・家族との定例会は毎年実施しています。コロナで中止したのを含めて昨年は50回目でした。(6期生 萩原 秀文)
- 元気に過ごして居ります。遠方にて欠席させて頂きますが、瑞山会の益々のご発展をお祈りします。(7期生 野田 哲夫)
- 毎年 職場のOB会総会と重なり欠席ですみません。市立大学各学部の拡大・充実・ご活躍をととても嬉しく思っています。みらい光生病院副院長の講演もお聞きしました。(8期生 寺田 まち子)
- 年に3~4回 市大の同期と宴会しています。都合により今回は欠席します。(8期生 佐野 昌利)
- 税理士として現役ですが、そろそろ引退を考えています。古希を過ぎ、体力的にも衰えに勝てません。(9期生 菊田 明信)
- いつもご連絡ありがとうございます。私 今 自治会、寿会、交通指導等 地域のためにと思っています。皆様によろしくお伝え下さいませ。追伸 名古屋での下宿生活、今でも時々思い出しています。(10期生 本田 睦臣)
- 当日は鈴鹿サーキットのレースがあるので欠席となります。(11期生 田中 康夫)
- 友人の会社「働きくらげファーム稲沢」を手伝っています。(12期生 林 和夫)
- 趣味の自然観察を楽しんでいます。小学生、中学生の観察仲間とすごす時間は財産です。(12期生 矢田 栄史)
- 岡崎市役所退職後、岡崎市福祉事業団常勤6年が終了(今年3月末)。現在、同法人で臨時職員として週3日勤務。健康第一で笑顔を大切に日々を過ごしております。(13期生 荻野 孝史)
- いよいよ年金生活に入りました。睡眠負債もなく、ゆったりと過ごしています。(13期生 広瀬 裕子)
- 職業訓練校の管理者として元気にやっています。皆様によろしくお伝え下さい。(17期生 加古 諭)
- 地域包括支援センターで社会福祉士として仕事をしています。老老支援です。(19期生 徳広 隆司)
- 森会計事務所として創業25年目を迎え、税理士登録後5年目の息子と共に事業承継に力を入れ頑張っています。(20期生 森 康範)
- タイでの勤務を終え、5年半ぶりに日本へ戻って来ました。(31期生 脇田 誠)
- かつて懇親会に参加した娘が、世代の差を(同窓会)?感じてしまったと申しておりました。世代別参加があれば良いのと思う母でございます。(娘の代わりに勝手に書きました)(50期生 林 利咲)
- 現在 Goettingen University(ドイツ) 博士課程に在籍中です。(54期生 本多 晴登)

「支部活動報告」 詳細は瑞山会WEBページをご覧ください

職域・企業支部

◆名古屋市役所支部「瑞名会」

- 会員数：800名 会長：鳥羽 義人 (21期)
- 総会・懇親会 (令和5年12月15日 サクラサイドテラス)
- 名古屋市役所採用内定者との交流会 (令和6年1月21日 名古屋城・名古屋能楽堂)
- 事業計画 総会・懇親会、名古屋市役所採用内定者との交流会

◆トヨタ自動車株式会社支部「瑞鳳会」

- 会員数：41名 代表：加藤 知明
- 総会・懇親会 (令和5年7月28日)
- 事業計画 総会・懇親会、名簿発行

◆株式会社豊田自動織機支部「織名会」

- 会員数：30名 会長：室殿 豊 (3期)
- 名簿発行 (令和5年5月9日)
- 幹事会 (令和5年6月25日)
- 総会・懇親会 (令和5年7月7日)
- 事業計画 名簿発行、幹事会、総会・懇親会

広域支部・職種別支部

◆税理士および公認会計士等支部「名古屋市立大学会計人会」

- 会員数：96名 会長：阿知和 清三 (3期)
- 総会 (令和5年6月6日) ●幹事会 (随時)
- 研修会 (令和5年6月6日、令和6年2月1日)
- 事業計画 総会・懇親会、全国会計人会サミット、研修会

◆自動車部OB・OG支部

「名古屋市立大学自動車部OB会」

- 会員数：194名
- 代表：浅野 正久 (薬学部)
- 幹事会 (令和5年7月29日)
- 会報発行 (23号：令和5年9月19日、24号：令和6年2月19日)
- 第17回ゴルフコンペ (令和5年11月15日)
- 第7回総会・懇親会 (令和5年12月9日 No.9 PIZZERIA&CAFEBAR)
- 事業計画 会報25号発行、第18回ゴルフコンペ、幹事会

地域支部

◆関東支部

- 関東1都7県居住者支部「関東支部」
- 会員数：462名 支部長：田中 英治 (14期)
- ゴルフ会 (令和5年5月19日 季美の森ゴルフ倶楽部、11月1日 東京ベイサイドゴルフコース)
- 総会・懇親会 (令和5年6月4日 ホテルルポール麴町)
- ハイキング会 (令和5年11月23日 高尾山)
- 芸術鑑賞会 (令和6年1月14日 観世能楽堂、3月27日 春の院展)
- ボウリング・懇親会 (令和6年1月28日 高田馬場グランドボウル・くいもの屋わん)
- 事業計画 総会・懇親会、ゴルフ会、ハイキング会、ボウリング会、忘年会、芸術鑑賞会、社会見学

◆関西支部 設立総会 開催

令和5年10月1日（日）アットビジネスセンター大阪梅田の会議室にて瑞山会関西支部の設立総会・懇親会を開催いたしました。

関西支部は当初3年前の令和2年5月に発足する予定でしたが、コロナが猛威を振るっている時期でもあったことから延期となり、やむを得ず翌年の令和3年6月1日に書面により発足させ、本日ようやく設立総会の開催に至った次第です。

当日はご来賓として浅井清文学長、中山経済学部長、津田喬子交流会会長、本部から村井清会長、他4名、関東支部長のご出席を賜り、また1期生3名をはじめ総勢23名参加の下開催いたしました。

総会の決議議案としては①これまでの活動報告②支部

役員の承認③支部規約の承認④令和5年度の事業計画・予算案の4議題について議論され提案通り可決されました。

その後、浅井学長より「名市大の現状と将来」について講演をいただき、名市大の発展している状況が良くわかり有難かったです。全員での記念撮影を行い、昼食をしながらの懇親会に入りました。

懇親会では皆、学生時代を思い出しながら色々な話題で盛り上がり、予定時間を大幅に過ぎましたが楽しいひと時を過ごし、またの再会を祈念して散会となりました。

○今年度事業計画

- ・総会開催向けの準備会議の開催
- ・令和6年10月6日（日曜）総会・懇親会の開催
- ・イベントの開催（食事・懇親会、ゴルフ会、新年会等々）

山崎川「桜まつり・乗馬体験会」開催

3月24日（日）“瑞山会桜まつり”にて、名市大馬術部のご協力を頂き、乗馬体験会を実施致しました。名市大馬術部の馬場は、薬学部南側に位置し、名古屋市内のまちなかにある唯一の馬に乗れるとても貴重な馬場となります。今回は、子供10人、大人5人が馬に乗る体験をし、普段はなかなか出来ない体験が出来たと、参加者から好評を頂くなか終了しました。

「曳き馬」で乗った人は13人（子供9人、大人4人）跨っただけの人が2人（子供1人、大人1人）本当は、小学校卒業記念に桜の前で馬に乗って、パチリ、なんてのが良かったのですが…この中から、名市大に興味を持って将来、

名市大に入りたい！、馬術部に入りたい！という子が出てくると、嬉しいですね！



今後の交流イベント予定

●山崎川 さくら祭り

令和7年は3月30日（日）開催します。薬学部薬友会館にて12時～15時まで軽食・ドリンクを用意し、お待ちしております。事前予約は不要ですので、山崎川桜見物兼ねてご参加下さい。その他イベントとして薬用植物園の見学会、懇親会で好評でしたマジックショーを計画しています。

●キャリア交流会（新企画）

年2～3回 開催予定

●ゴルフ大会

第79回ゴルフ大会 2024年4月20日開催

第80回ゴルフ大会 2024年10月19日（土）開催予定

第81回は2025年4月19日（土）を予定しますが、今後平日開催も検討

●令和7年度総会兼代議員会・懇親会

2025年6月21日（土）開催予定

※正式な案内はホームページ、往復はがきでご連絡します。

令和6年能登半島地震義援金（28,811円）を送らせて頂きました。

総会兼代議員会・懇親会の席上にて、募金活動を実施させて頂き、上記参加者一同の名前にて振り込みさせて頂きました。

「個人情報変更方法」のご案内

転勤、転居、ご結婚、その他により各会員皆様の登録個人情報を変更される場合は「瑞山会ホームページ」から変更登録が可能です。

「瑞山会ホームページ」 <https://www.zuizankai.jp>

アクセス用 ID : PW :

